

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		誘客連携による地域活性化事業				②事業番号		3428		
③事業類型	7. 負担金・補助金事業				④開始年度	令和 2 年度	⑤終了予定年度	令和 7 年度	設定なし	
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称			
⑦実施手法	直営	○ 全部委託	一部委託	補助・負担	その他					
⑧関連予算科目コード	款	6	項	1	目	5	細目	5		
⑨担当部名	⑩担当課名				会計					
市民生活環境部		産業観光課				一般会計				

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位
①	泉南市における休日滞在人口	①	休日滞在人口	人
②		②		
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位
共同プロモーション事業 恋人の聖地を核として、地域の新たな魅力づくりと情報発信を図るとともに、ICTの活用による旅行者のデータ収集・共有を可能とするプラットフォームを整備し、共同参画市町村間相互の観光交流促進と観光消費拡大を目指す。 観光客受入環境事業 全国各地の恋人の聖地への周遊プロモーション展開。恋人の聖地以外の地域事業の発掘・開発支援を行う。		①	アプリ登録者に対するプレゼント数	品
		②		
		③		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
来訪旅行者情報共有のためのプラットフォームを整備することで、旅行者と各地域の観光サービスを直接結びつけ、観光誘客を図る。		①	協力事業者拠点件数	件
		計算式		
		②	プラットフォーム登録者数	人
		計算式		
		③		
		計算式		
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け		
恋人の聖地の魅力向上及びその周辺地域のブランド普及により、全国回遊、地域回遊を推進することができる。		政策(章)	3	産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち
		施策大(節)	4	豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします
		施策中	1	観光機能・体制の充実
		施策小	4	広域観光の推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①		休日滞在人口	人			52,421			指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①		アプリ登録者に対するプレゼント数	品			3			
活動指標②									事業により開発した アプリ「とくナビ」登録 者に抽選で泉南市の プレゼントを提供。
活動指標③									
成果指標①		協力事業者拠点件数	件			13			
成果指標②		プラットフォーム登録者数	人			51			
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人			0.10			
		任期付職員	人			0.00			
		臨時職員	人			0.00			
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円			763			
		直接事業費	千円			20,564			
		総事業費	千円			21,327			
財源内訳	国庫支出金	千円			10,282			—	
	府支出金	千円			0				
	受益者負担金	千円			0				
	その他特定財源	千円			0				
	一般財源	千円			11,045				

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	旅行者データの共有による効率的・効果的な観光誘客を目指すため、恋人の聖地認定市町村と連携し広域的な取組を進めることとなった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	旅行者データの効率的・効果的な活用により、観光誘客を図ることができ、恋人の聖地に留まらない地域内周遊を推進することができる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	地域活性化を推進するために、必要な事業である。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催が難しい中、関係機関との連携・協力により、サプライズ花火、イルミネーション等を実施することで、市の魅力を発信することができた。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	—
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
--	-----------------------------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	市内への観光誘客が図られ、地域活性化に繋がる事業であり、継続して取り組むべきである。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—